

# 例会報告

第2574回例会報告議事録

日時 令和元年6月18日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト：溜川良次ガバナー補佐(柏RC)

ビジター：なし

S.A.A.: 倉持会員

## 会長挨拶

荒井会長



先週の親睦観劇、劇団四季の「パリのアメリカ人」に参加された皆様、大変お疲れ様でした。大変いい観劇でした。

今年度の例会も残すところ、あと2回となりました。嬉しいやら悲しいやら、複雑な心境です。

本日はガバナー補佐訪問です。溜川ガバナー補佐、お忙しい中、ありがとうございます。溜川ガバナー補佐は大変リーダーシップのある方で、11グループの親睦ゴルフの時はゴルフをされない方も参加できるように親睦ボーリングを同時に開催してみたり、合同例会では会長幹事会のジャズダンスを取り入れてみたり、常識にとらわれない独創性のある方です。こんな素晴らしい方が7月からご家族のご都合で沖縄に行かれます。これは11グループにとって大変な損失です。とても残念でありませんが、沖縄に行かれてもロータリークラブに入会されるとのことなので、ロータリーではつながっています。沖縄に行った時には必ずメイクアップしますので、向こうでもお身体に気をつけて頑張ってください。ガバナー補佐、一年間お疲れ様でした。

## ご挨拶

溜川良次ガバナー補佐



本席にはガバナー補佐経験者の方も複数いらっしゃいますし、偉そうな事を私が今更いふべきこともございませんが、次年度、我孫子クラブさんからガバナー補佐が輩出されますので、3~4回程、各クラブ回って下さいね、というのが大きな仕事になっています。

ガバナー公式訪問というものがありますが、それ以外にも地域の活動をご指導されるという任があり、それは一人ではやりきれませんので、それを補佐役がやるということになっています。

今年度のバリー・ラシン会長の「インスピレーションになろう」というのは非常にむずかしかったですね。心の奥底にあるエネルギーのようなものを出して、地域社会や国際社会の中で行動を起こしてちょうだいよというようなことです。

長年、日本のロータリーの中には、職業奉仕を中心とする考え方と、もっとみんなで行動しようよというようなアクションを中心とする考え方と、二つありましたが、両方大事だというような考えを寺嶋ガバナーが「理念と実践」というテーマで掲げられました。橋岡ガバナー年度は「伝統と未来」という言葉を示されました。この二つの流れを終結しようということだったと思います。

RIは間違いなく、地域社会や国際社会でロータリーはなんらかの行動をし、それが世間からきちっと評価される、そういう団体にならなければならないという方向を打ち出しています。日本のロータリアンがそれについていろんな考えを持つのはかまいませんが、RIとしてはそういう方向を明確に出しているのだから、我々は地域やお国柄に合わせてアレンジしていけばよろしいのではないかと思います。

我孫子ロータリークラブは、伝統的に地域社会に貢献することを続けていらっしゃいますし、婚活パーティーも大成功を納められました。とてもいいアイデアだと思います。社会が問題としている事柄に真っ正面に向かって取り上げ、実践されたことは高く評価されることだと思います。

私は今66歳です。非常にいい年代だと思います。戦争を直接知りません。昭和28年に生まれました。日本が元気がついてきて、復興の兆しの中で生まれました。母親が鉄の鍋でご飯を炊いているのを見ているし、洗濯板で洗濯をしていた姿も見っていました。洗濯機が出てきた時、母親がすごく感謝していました。うちに初めて来た洗濯機は茶筒のような形でした。そのうち四角いのが出てきて、二層式でローラーで絞るものでした。

常磐線も昔は古い車両が走っていました。それが日本社会が豊かになり、みんなスマートになりました。

私たちの代は、日本社会が向上して行く度に幸福感を持ち合わせる事ができました。が、今の若い世代は初めから恵まれた時代に生きています。ひかり号からはやぶさが走るようになっても大した変化ではありません。

今の若い人にどうやったら幸せを提供できるのか。今回の我孫子ロータリーさんの活動には感慨を深くしました。

来月の二日に沖縄に移ります。中城(なかぐすく)村という村に、小さな保育施設を4月にオープンしまして、本拠地はこちらにありますので、行ったり来たりの生活になると思いますが、生活の軸はそちらになります。

私の長男はハンディキャップで、腎臓を患っており、車椅子でないと動けません。家内も亡くなって5年になります。年寄りとハンディキャップの父子家庭ですので、長女がいる沖縄に行く事にしました。

私の小さな保育施設ですが、皆さんどなたが来ても泊まれるように、シングルベッドが2つあるツインのゲストルームを作っています。小さなシャワールームとミニキッチンもつけています。手土産等一切不要で、自由にお使いいただいて結構ですから、一泊2千円もらいますからというような仕掛けもしております。

沖縄県唯一の国立大学の琉球大学が近くにあります。娘は宜野湾(ぎのわん)という所に住んでいるのですが、そこにロータリークラブがあり、実はもう2回程ビジター訪問をしました。

私の所からも湾が眺められますが、とても景色のよい喫茶店もあり、イタリアンレストランもあり、きれいに海が見えます。ぜひお越しいただければ、寂しい気持ちも紛れると思います。

大変私事になり恐縮でございますが、皆さんとお付き合いを今後とも続けていくことができますようお願いしたいと思います。我孫子クラブの会長幹事さんをはじめ、皆様に大変お世話になりまして、任務を全うすることがどうやらできそうでございます。この一年、感謝申し上げます、ご挨拶といたします。益々のご発展を願っております。ありがとうございました。

## 親睦委員会報告

米田副委員長



この一年間、親睦活動に参加していただいた皆様どうもありがとうございました。

## 出席委員会報告

関根副委員長



21名(出席免除者含む)出席(全員で31名) 出席率67.74%

業務による欠席が1名。

業務の為：今井会員、小野会員、梶会員、上村会員、佐藤会員、塩毛会員、堤会員、福武会員、藤本会員、柳田会員

## 幹事報告

依田幹事



・来週は新旧交代式を角松本店にて行ないます。出欠確認がファックスで届いているかと思えます。お土産等の関係、また人数も確定しなければなりませんので、あさって木曜までに返信の方をよろしくお願いいたします。

## 卓話

鈴木会員



私は71になり、溜川さんより5つ兄貴になりますが、ものを忘れるようになっていくなつくづくしみじみ思っています。

溜川さんは全国の認定こども園というのをいち早く立ち上げて、全国の同士達が集まって、その中で中心的に奮闘しておられました。その上、今年はガバナー補佐という大役を成し遂げられて、旅立たれる時に私が卓話をやらせていただくことになったのは不思議であるし、ほぼ昭和の同世代を生きてきた者として、うら若きロータリアンにお伝えすべきお話がきっとあるのかなと思っています。

プログラム委員長の木村さんから、いつか我孫子ロータリーのレジェンドの話をして、と言われました。私は我孫子ロータリーに入ってから20年になりますが、物忘れになっても、これだけは忘れないという話があります。

(次ページへ続く)

人はなぜ記憶を持続しえるかという、おそらく、心が喜ぶ、感動という二文字があれば、生きる力になり、忘れられないお話しになるのだと思います。

ロータリーで出逢った人達のことを少しお話ししていきたいと思います。

私は50歳の時に、井上先生にロータリアンにならないかと言われ、家内のおじさんである、村越会員のお父さんにも声をかけていただき、入会しました。

私が経験する限りでは、意見の違いがあったり、一部過激なお話があったりすることはありましたが、我孫子ロータリーはいつも友好的で諍いの事はありませんでした。

その頃は一業種一人が貫かれていました。

2008-2009年度に最初の会長、2016~2017年度に2回目の会長をやらせていただきました。

先日の学びの会の時もお話ししましたが、野田さんから電話があり、入ったばかりの若い会員に会長等の重責を負わせるのは忍びないからということで、瀧日先輩、上村文明先輩と私に白羽の矢が立ち、我々が会長職を仰せつかりました。

それを仕掛けた野田進さんの中には若い人に苦勞させないという愛情があったと思います。小さな体でいつもにこやかに、人に無理強いをしたりすることもなく、愛情をいつも感じました。残念ながら、彼は早く天国に召されました。

いろんな行事も目に浮かびます。ロータリークラブは複数年度、継続事業はするべきじゃないという一般的な話がありますが、継続しないと力にならないのかなとも思ったりもします。

昔、中学生の保育体験というのがありました。近所の中学生が幼稚園の子ども達と時を共に過ごしました。

ある時、登校拒否をしていた女子中学生が来ました。その時、かおりちゃんという自閉症の子がいて、誰にも心を開かなかったのですが、登校拒否の女の子とは驚く程、笑顔でつながって来ました。言葉を越えた何かがあったのだと思います。

もう一つ、これも私共の幼稚園がずいぶんと恩恵に預かった行事かもしれません、レンゲまつりという行事がありました。利根川のゆうゆう公園で、れんげを植えて、養蜂家を招いて、れんげを採ったり、子ども達と一緒に体育館で凧を作ったりして、連凧の会のおじさんが来て一緒に青い空に凧を上げたり、れんげのはちみつをしぼったりして、親子で遊んだりしました。上村晃一先輩の所のテントをいつもお借りしてやっていました。それも数年続きました。

それらは我孫子ロータリークラブの行事の歴史として私の心に残っています。

ご紹介したいことが一杯あるのですが、私が最初に会長になった時に、尾上さんが「鈴木君、ロータリーのバッジが重くなるようにして」としきりに熱く語られました。ロータリーのバッジを重くするという事は、人としてロータリアンとして、お前自身がしっかりせいよ、という励ましの言葉として、最初はちょっとマイナスに考えたりもしたのですが、それは違いました。ずっと一年間過ごす中で尾上先生はいつもにこやかで友好に満ちた眼差しを向けてくださり、それは大きな励ましになりました。

その尾上先生の話で忘れられない戦時中の話がひとつあります。

尾上先生が大学生の頃、東京は大空襲になりました。みんなが逃げまどって隅田川に飛び込んで熱い熱いと言って亡くなった時の話です。ある少女が「お兄ちゃん、お兄ちゃん助けて」と尾上先生の近くに來たのですが、自分が逃げるのに必死で助けられなかったと言うお話をロータリーの席で告白されました。その時、尾上先生は泣いていらっやいました。尾上先生の愛情というのはすごいなと私は思いました。何十年もたって思い出して、自分を悔いている、その姿に深い愛があるなと感じました。今でも忘れられません。

写真館の落合さんにも随分かわいがっていただきました。ある時、私に「君のそのネクタイだめだよ。もっと派手なのやりなさい」と僕が買ったこともないような高級なネクタイをはずして私にくださいました。今でも持っています。

家内の叔父になる村越孝夫さんは、僕が入った時に「公三さんが入ったからロータリーもしっかりするよ。楽しみだ」みたいなことをおっしゃってくださったそうです。僕は正直言って、青春時代からの自分の歴史をひもといてみた時に失敗ばかりの人生で、ろくな人生ではなかったと実は思っています。二十歳代から30歳前半くらいまでは、とっても苦しくて恥ずかしい生活をしてきたかもしれません。幼稚園に招かれてから職業柄いろいろと学ばせていただく事がいっぱいあって、そういう中、村越孝夫さんにそう言っていただいて、今は真摯に「本当にありがとうございます」と心の中で受け止めて、「がんばります」と誓いながら、微々たる力ですけれども、こうやって皆さんの前でお話させていただいている次第でございます。

私の大好きなパストガバナーがこんなことをおっしゃっています。

ロータリーは今、単に奉仕する団体となり、奉仕する心を育む人の集まりではなくなってきていることが懸念される。このロータリーが生き残りをかけるには、例会を重視させて、人を作り、世

の中のお役に立つと言う原点回帰をし、ロータリーの哲学を学び、それを日々実践することが大事だ。

ロータリー自身が心が豊かになって、本気で愛を持って人のために生きて行くというのは、中々できにくいことかもしれませんが、そんなことが私達の中心課題かなと思っています。

自分が役に立った時には、この上ない幸せがプレゼントされます。この場で語り尽くせない恵みや幸せがあると思います。

私は幸い幼児教育という場に招かれて、いつも子どもや父兄の笑顔と希望にあふれた命を目の当たりにさせていただいていることは最高のプレゼントをいただいていると思っています。

私のあるかないかわからないような愛情を駆使しながら、皆さんと共に、よい心を持ったロータリアンになっていきたいなと思っています。

ここに星野先生が書かれた本があります。先日、教会で星野先生の奥様が「最後の1冊だけど、私が持っているより、あなたが役に立てた方がいいから」といただきました。我孫子ロータリーを立ち上げたときの初代会長さんである小熊勝夫さんが推薦をされています。井上圭司先生の文章もあります。

井上先生のスリランカへの学校建設や星野先生のフィリピンでの医療ボランティアのこととか、国際奉仕の先駆的な仕事を我孫子ロータリーの先輩達がされてきました。

婚活の話を含めて、我々が進んでいくべき道をみんなで模索しながら、これからいいクラブになれたらと思っています。

また、溜川さんが向こうでご活躍されることを祈念しております。シャワーを浴びながらベッドルームで過ごさせていただくかもしれません。

ご清聴ありがとうございました。

## 閉会の言葉

荒井会長

溜川ガバナー補佐、本日は貴重なお話しありがとうございました。また、鈴木会員、卓話ありがとうございました。大変勉強になりました。以上で例会を終了いたします。点鐘します。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
溜川良次 ガバナー補佐	1年間ありがとうございました。	10,000円
荒井会長	鈴木会員 卓話ありがとうございました。	2,000円
倉持会員	鈴木会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
小池会員	鈴木会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
佐藤雅教会員	梅雨も真っ只中 気持までジメジメしそうです。	1,000円
鈴木会員	溜川さん沖縄での御活躍祈ります。	1,000円
寺井会員	溜川様、鈴木先生、ありがとうございました。 健康に気をつけて下さい。	1,000円
村越会員	溜川ガバナー補佐、お元気で。 鈴木会員卓話ありがとうございました。	1,000円
依田幹事	一年間ありがとうございました。 公三先生卓話ありがとうございました。	1,000円
	当日計	19,000円
	今期累計	327,650円

今週の表紙「竹内神社」千葉県我孫子市布佐1220番地

竹内神社の例大祭は江戸中期の享保年間に始まった歴史ある伝統行事です。竹内神社の氏子である5町内が持ち回りでい、五穀豊穰を祈願します。成田街道(国道356号線)沿いで神輿・山車が巡行する際は大勢の見物客で賑わいます。2011年は東日本大震災で受けた液状化被害の為中止となりましたが、住人らの「復興につなげたい」との思いで翌年から再開しました。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。